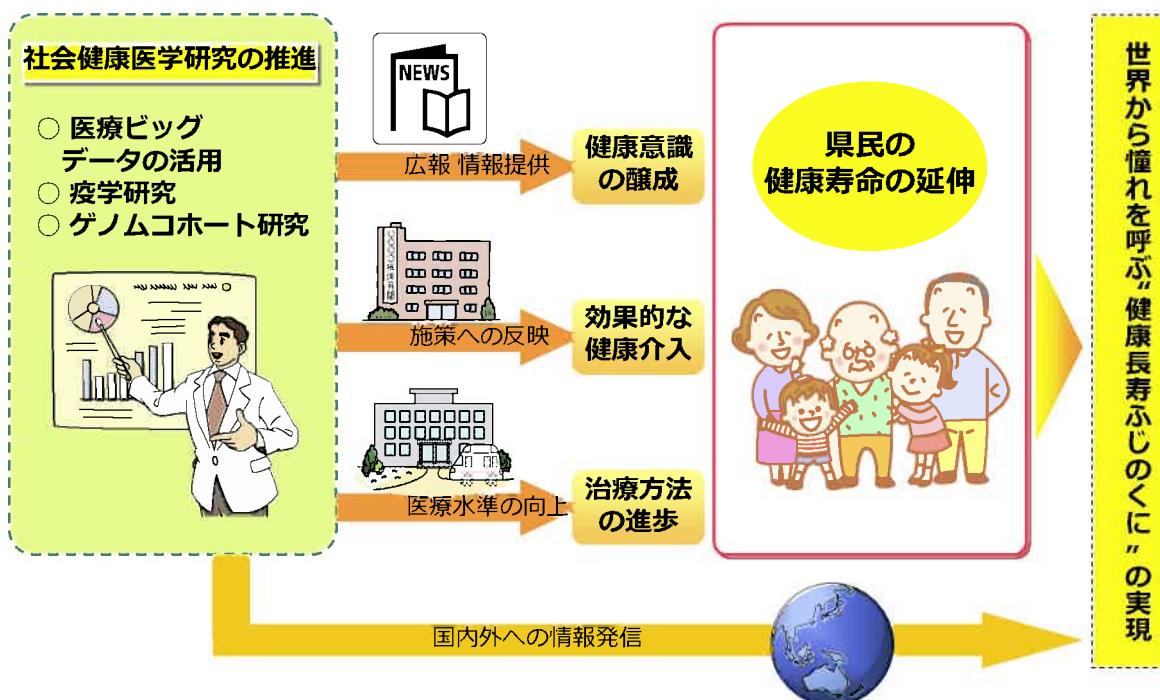


県民への成果還元の視点から取り組む研究の進め方

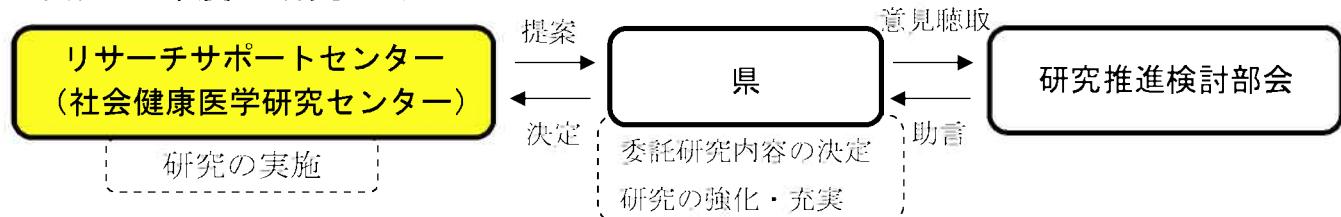
<社会健康医学研究推進基本計画の記載内容>

- 健康増進施策や疾病予防対策に科学的な知見を導入するため、「医療ビッグデータの活用」、「効果的な健康増進施策・疾病予防対策のための疫学研究」、「ゲノムコホート研究」の研究に取り組みます。
- 社会健康医学の研究により得られた成果を、健康増進施策や疾病予防対策に反映します。
- 県民が自らの健康を意識し主体的に健康増進活動に取り組むよう、社会健康医学の研究成果を県民に分かりやすく情報提供します。

<研究成果の還元の全体イメージ図> 計画書 p49 から抜粋



<平成30年度の研究スキーム>



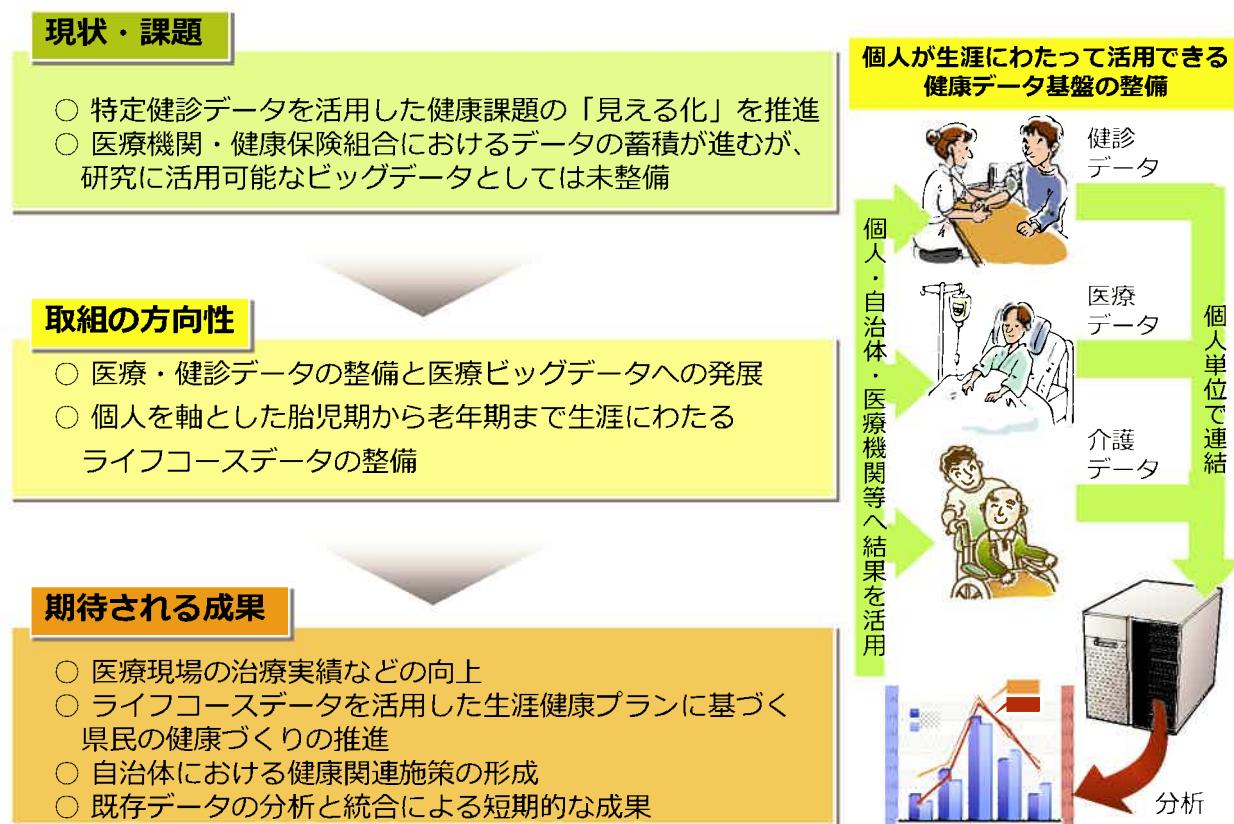
<御意見をいただきたい事項>

- 早期に県民へ成果を還元する視点から、どのような研究に重点を置いて取り組むことが必要か。
- 中長期的に取り組む研究に対して、どのように進めていくか(研究内容、実施規模、対象地域など)。
- 静岡県が目指す大学院大学の教育研究内容に繋げていくために、どのように研究の強化・充実を図っていくか。

●医療ビッグデータを活用した研究の内容

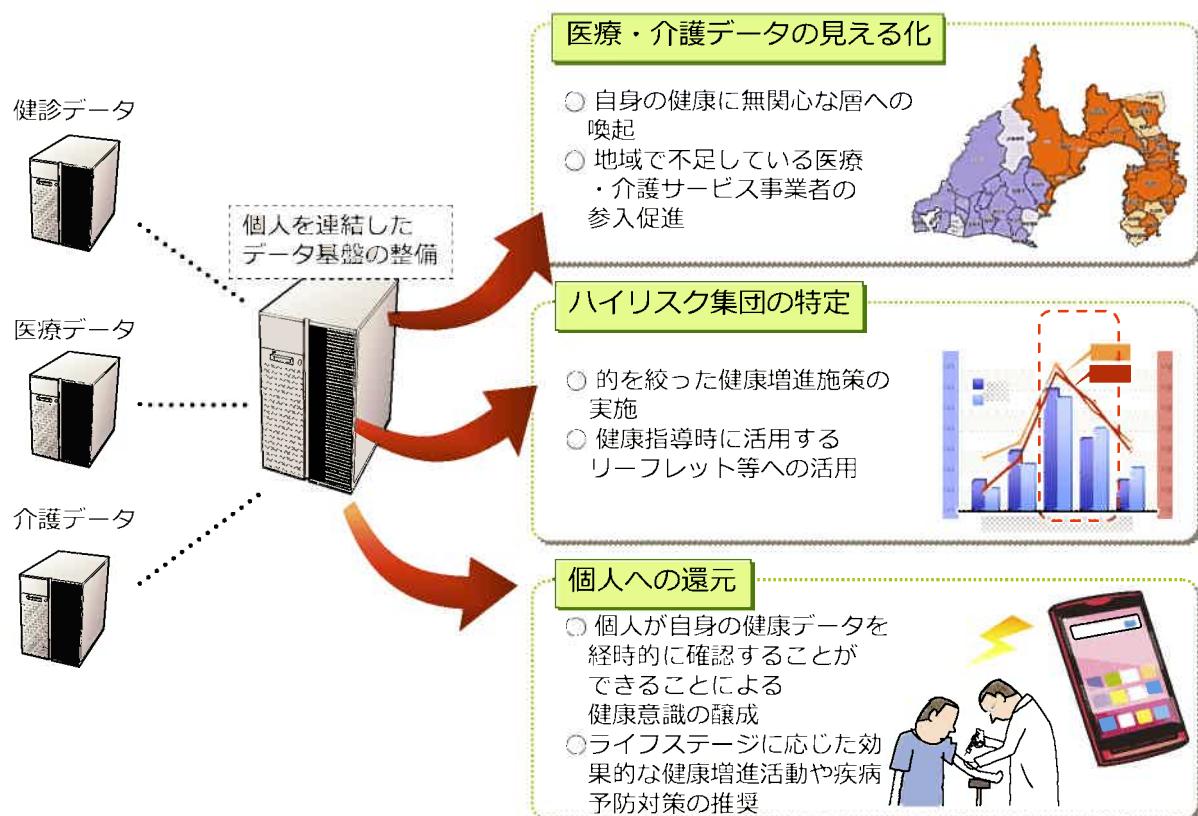
<医療ビッグデータを活用した研究推進のイメージ図>

計画書 p20 から抜粋



<医療ビッグデータの活用による成果の還元のイメージ図>

計画書 p43 から抜粋



●効果的な健康増進施策・疾病予防対策のための疫学研究の内容

<効果的な健康増進施策・疾病予防対策のための疫学研究の推進のイメージ図>

計画書 p24 から抜粋

現状・課題

- 「ふじ33プログラム」などの生活習慣改善プログラムを提供。各種の健康増進施策や疾病予防に取り組む。
- 疫学研究など医学的・科学的な知見からの根拠に基づく医療や健康づくりに至っていない。

健康な人が多い集団と少ない集団との違いを検討

健康な人が多い集団

健康な人が少ない集団

取組の方向性

- 県内各地域における特性の把握と健康増進などへの適用
- 現場の医師などが活用出来る知識や手法などの提供

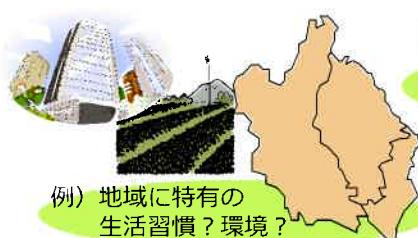
期待される成果

- 地域の特色の把握とそれに即した医療・健康増進の実現
- 新たな特色（要因）に基づく効果的な施策展開
- 県民への結果の還元と健康づくり推進

健康長寿につながる要因を解明

<効果的な健康増進施策・疾病予防対策のための疫学研究による成果の還元のイメージ図> 計画書 p45 から抜粋

地域間の健康格差につながる要因の違いを明らかにする



生活習慣の違いが健康に与える影響を明らかにする



健康づくり施策立案
広報への活用

- 生活習慣改善プログラムへの活用
- 地域の食材に応じたレシピの作成
- 研究結果をPRする広報



医療機関における治療プログラムへの反映

- 治療実績などの向上
- 地域に独特な生活習慣に配慮した生活指導
- 入院時から退院後までの効果的な生活支援

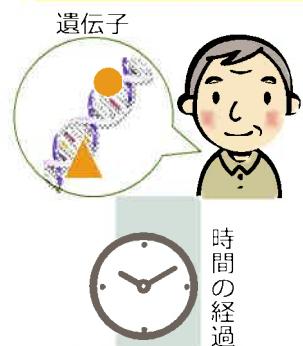
●ゲノムコホート研究の内容

<ゲノムコホート研究の推進のイメージ図> 計画書 p28 から抜粋

現状・課題

- 更なる健康寿命の延伸を目指すには、疾病や健康に関係する遺伝因子や環境因子の解明が必要
- 県で比較的多い疾病と遺伝情報と環境情報の関わりについての調査は未実施

遺伝要因の健康長寿への影響を検討



どんな遺伝因子・環境因子を持つ人が健康長寿?

取組の方向性

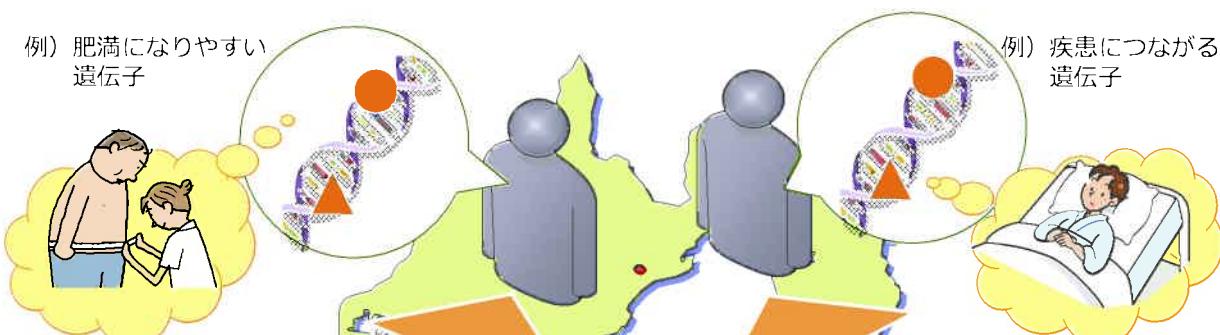
- 静岡県の健康寿命に係る遺伝子などの状況の解明
- 県民個々の遺伝因子や環境因子を踏まえた健康管理・予防対策

期待される成果

- 集団としての県民の発症リスク・因果関係の解明
- 個々の県民のリスクに即した健康指導や治療方法の適用
- 地域の健康づくり・まちづくりへの効果



<ゲノムコホート研究による成果の還元のイメージ図> 計画書 p47 から抜粋



遺伝因子 環境因子を踏まえた、疾患リスクの把握により

県民に最適な“生活習慣の改善”

“最適な治療（オーダーメイド治療）の実施”